

令和4年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階) 私立 東海大学附属福岡高等学校

		学校運営計画 (4月)					
学園運営方針	若き日に汝の思想を培え 若き日に汝の体躯を養え 若き日に汝の智能を磨け 若き日に汝の希望を星につなげ四つの言葉を基本理念として、人権尊重の精神に立脚し、人間・自然・歴史・世界・文明などに対する幅広い視野や、人生の基礎となる思想を養い、人生の意義について自ら学び考える力を育成する。21世紀を担う豊かな人間性を備えた創造性豊かな人材の育成をめざす。						
学校運営方針	私学の存在意義は、建学の精神に沿った教育と、時代の要請に応え柔軟に対応する特色ある教育にある。本校の教育は学園の基本方針に沿って、本来あるべき高校生活を十二分に展開する中で学習と教科外活動(部活動等)の両立に立脚した「人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成」をめざす。また情報化・国際化の進展に対応し、それぞれの教科においてその目的に沿った教育を展開する。併せて、地域社会との教育的連携・貢献をはかり、地域の要請に応える。						
令和4年度学校重点目標							
昨年度の成果と課題	実践最重点目標	具体的目標	評価(3月)				
令和4年度校務分掌・学年重点目標							
昨年度の成果と課題	分掌・学年	分掌・学年重点努力目標	具体的方策				
	教務部	[1]基礎学力を高めつつ個性を伸ばす授業態勢の構築。	①円滑な授業が行われるための時間割作成と運用 ②試験や行事において、効果的に対応できる特別時間割の作成 ③学園基礎学力定着度試験の結果分析と検証 ④学校行事の充実化と連携した授業時間の確保	[1] 4	成果 新課程に伴う評価及び処理システムの改良を進めることが出来た。また、アクティブラーニングの可能性について全教員で研修を深め、その定着精度を高めることが出来た。  課題 サタデーセミナーの実践において生徒の意欲関心にどう我々がアプローチしていくか。この点は課題である		
		[2]教科と連携したコース・類・クラスに対応した授業内容の模索。	①教科と連携した公開授業・研究授業の推進(研究部との連携) ②AL授業の構築と評価の在り方の検討 ③東海大学をはじめ、進路に応じた学力保障 ④スタディーサプリとポートフォリオの効果的且つ継続的な活用	[2] 3			
		[3]情報管理室、学年と連携した円滑な成績処理の推進	①校務システム(Symphony)の円滑な運用とデータ提供 ②新課程に伴う評価システムの見直しと成績処理システムの改良 ③非常勤講師との連携	[3] 3.5			
		[4]家庭と連携した生徒の授業に臨む姿勢づくり。	①保護者への確実な情報提供(成績・通知表への学年末5段階表示・行事等) ②三者面談の効果的な実施と成績不振者への年間を通じた指導の推進 ③成績不振者の指導のシステム化 ④生徒はもちろんのこと保護者に寄り添う指導を行い、転退学生徒を5名以内にする	[4] 3.5			
		[5]その他	①魅力あるサタデーセミナーの実践及び改革 ②アクティブラーニングパイロットを中心とした教科毎の授業革新	[5] 3.5			
	生徒指導部	[1]基本的生活習慣の確立 [2]指導体制の確立 [3]部活動の推進 [4]安全教育の推進 [5]問題行動の防止と再発防止	①挨拶の励行(教職員間の挨拶の徹底、明るく爽やかな挨拶と正しい言葉遣いの推進) ②正しい服装の徹底(学年・クラスでの推進・各授業での指導、各集会での検査実施) ③時間の厳守(教務、学年と連携して遅刻防止の推進、遅刻指導の徹底) ④環境の整備美化の取組み(清掃方法の指導、用具の運営管理、特別大掃除の推進) ⑤各学年との連携を取っての指導体制を図る(特に3年生については、面接指導等において進路指導部との連携を図る) ⑥同好会、部活動(運動部、文化部、総合部、チャレンジ学習部)の参加者増員への取組み、学園オリンピック参加への推進 ⑦活動場所の確保と安全点検(自転車通学生含む) ⑧部室管理(清掃、備品管理の取組、施錠の徹底) ⑨校内施設安全確保と衛生点検の推進 ⑩登校指導・身だしなみチェック・授業連絡票のルーティンで1日の学校生活を整える ⑪盗難防止と貴重品管理の徹底(持ち物への記名の徹底) ⑫不要物の校内持ち込みの防止 ⑬校内、校外巡回強化(通学指導、登下校指導の徹底) ⑭後援会生活指導委員との連携	[1] 4 [2] 3 [3] 4 [4] 4 [5] 4	成果 基本的生活習慣の確立については学年と連携した指導体制が円滑に進めることが出来た。  課題 身だしなみチェックや授業連絡票を用いての指導に温度差が生じていた点は課題である。		
		進路指導部	[1]一貫教育の推進～付属推薦入学者25%、他大学を含む進路決定率100%をめざした進路指導の徹底 その実現のための各学年との連携強化。 [2]効果的な進学指導 [3]就職希望者にむけた指導強化 [4]各種情報収集・整理および閲覧コーナーの充実 [5]スーパー特進難関コース・アスリートコースのそれぞれにおける目標設定とその充実。	①付属推薦を大前提とした各学年との一層の連携 (ア)1学年・・・進学説明会や学年の指導を通じ進路意識を芽生えさせる。東海大学をPRする。 (イ)2学年・・・学部説明会等で東海大学のPRおよび説明会等による推薦志望への導き。 (ウ)3学年・・・説明会・面談等による付属推薦希望者の確保。(大学進学率65%、決定率100%) ②東海大学熊本キャンパスとの連携強化。(生徒・保護者対象のオープンキャンパス等の企画と実施) ③特別奨励入学制度の積極的PRによる優秀な付属推薦入学者の確保。 ④大学案内やパンフレットなど情報提供による1年生から効果的な進路指導の充実。 ⑤体験留学(農学部・海洋学部)PRによる参加者の増加に向けた取り組み。 ⑥他大学・短大進学希望者に対する指導体制の確立や説明会参加の促進。 ⑦学園基礎学力定着度試験や校外模試を活用した進学指導。 ⑧小論文指導・面接指導の取り組み。「現代文明論」や3学年団との連携による指導体制の確立。 ⑨進路意識を高めるガイダンス等の実施。 ⑩専門学校進学希望者への進路指導。 ⑪就職希望者への徹底した進路指導。 ⑫ガイダンスや面接指導を充実して、内定率100%をめざす。入社後の取組等も含めた指導。 ⑬東海大学関係をはじめとする国公立・有名私大・地元有名大学の資料提供。 ⑭進学I類・II類コース対象の補習実施 ⑮各模試のデータ活用。 ⑯3か年にわたる指導計画の確立と授業担当者による連絡会の開催。 ⑰スタディーサプリによる宿題配信を強化し、さらなる学力向上に努める。		[1] 3 [2] 4 [3] 3 [4] 3 [5] 4	成果 保護者対象の進路説明会を実施できた。東海大学熊本キャンパスとの連携は昨年以上に進めることができた。 ・他大学への進学指導に関しては各教科とも個別指導を重点的に実施し、それなりの成果を収めることができた。就職指導に関しては、昨年度に引き続き就職指導員を配置して、十分な効果を挙げることができた。次年度も継続して取り組んでいきたい。  課題 生徒数が増加してきた場合の対応が今後の課題といえる。 ・他大学等の進学説明会には時間の許す限り参加したが、それでも十分な情報の収集には至らなかった。

	研究部	<p>[1] 高校現代文明論授業(創造性教育・知的財産学習を含む)の充実</p> <p>[2] 人権教育・同和教育・道徳教育の推進</p> <p>[3] 探究学習プログラムの確立</p> <p>[4] 教職員の必要に応じた研修の計画と実施。</p> <p>[5] 地域連携活動の推進。</p> <p>[6] 生徒会活動の活発化。</p>	<p>① 新編高校現代文明論(テキスト)を軸に『建学の精神』を主体とした内容の構築</p> <p>② 習得分野の設定と授業計画を設定</p> <p>③ 現代文明論研究授業の実施(1年=11月、2年=10月に実施)</p> <p>④ 7月、10月に実施する授業評価アンケートに基づいたベストティーチャーの選出と表彰</p> <p>⑤ 人権教育・道徳教育の推進による人権意識の高揚および「心の培養」とそれに基づく行動を实践</p> <p>⑥ 教職員研修の充実(進路指導研修・アクティブラーニング推進研修・タブレット活用研修他)</p> <p>⑦ 生徒研修の充実(「宿泊研修」「修学旅行」など)</p> <p>⑧ 外国語教育にとどまらない国際交流事業の啓発と推進(留学生等の受け入れ)</p> <p>⑨ 学園オリンピック等の学園行事への参加促進</p>	<p>[1] 4</p> <p>[2] 3</p> <p>[3] 3</p> <p>[4] 3</p> <p>[5] 4</p> <p>[6] 3</p>	<p>現代文明論の年間スケジュールの大幅変更を行い、その実施に際して、概ね順調にカリキュラムを進めることが出来た。</p> <p>探究的学習における担任の先生方に提供する教材においてはまだまだその種類が少ない。</p>
	1学年	<p>[1] 高校生活への順応と基本的な生活習慣の確立(礼儀、挨拶、言葉遣い)</p> <p>[2] 基本的な生活態度の育成(社会で通用するマナー、価値観を身につけさせる)</p> <p>[3] 学習習慣・学習意欲の向上と環境づくり</p> <p>[4] 進路指導</p> <p>[5] 保護者とのコミュニケーションを大切に、保護者から信頼される学年運営</p> <p>[6] 各分掌と連携しつつ、学年主導による学年運営を行うこれにより個々の生徒へのきめ細かな指導を目指すとともに、各分掌のスリム化を促進する</p>	<p>① 校則の遵守(頭髪・服装・ルールの遵守など、全教員が同じ目線で指導を徹底する)</p> <p>② 挨拶の励行(学校にかかわる全ての方々に対して心のこもった挨拶)</p> <p>③ 出席の督促(正当な理由のない欠席・遅刻・早退をなくす、問題のある場合はただちに家庭連絡や保護者との面談を実施)</p> <p>④ 礼儀指導「学びの姿勢(態度)」を身につけさせる(高校は自己成長の場である。生活面・学習面において素直さ・謙虚さが大切であることを理解させる)</p> <p>⑤ HR、授業時(挨拶の徹底、服装を直す、机を並べる、ゴミを拾う、聞く態度の指導)</p> <p>⑥ 集会時(集合時間の厳守、聞く態度の指導、歌唱指導)</p> <p>⑦ 「周りへの目配り気配り心配り」の意識高揚</p> <p>⑧ 学習に対する心構えや学習方法の指導(新カリキュラムへの対応)</p> <p>⑨ 学習状況・理解度の担任把握(教科担当者との情報交換、面談等)</p> <p>⑩ 学習環境の整備(教室内の整理整頓)</p> <p>⑪ 補習・模擬試験・英検等への積極的参加(教科・進路指導部と連携して、HR・授業において積極的な参加を呼びかける)</p> <p>⑫ コース、類に応じた学習指導(習熟度別、実力試験、家庭学習、補習等)</p> <p>⑬ 保護者や部活動等とも連携し協力を得ながら徹底した基礎の習得に努め、高校本来の課程が等しく授業できるようにする</p> <p>⑭ 進路指導部・教務部と協力して進路情報を提供し、1学年終了までに進路の方向性を出せるような指導をおこなう</p> <p>⑮ ポートフォリオの活用によりボランティア等の校外活動を積極的に促進する</p> <p>⑯ スタディーサポートを活用した個別面談の実施、進路意識の発揚</p>	<p>[1] 4</p> <p>4</p> <p>[3] 3.5</p> <p>[4] 3</p> <p>[5] 3</p> <p>[6] 3</p>	<p>・頭髪服装指導は、共通認識理解のもと、同じ目線で指導が徹底できた。</p> <p>・不登校生徒に対する対応としては全クラスが家庭と連絡を取り、落ち着いた指導を行うことが出来た。</p> <p>・学習指導において、コース類に応じた課題設定を的確に行う。このポイントで考えた時、教科担当者との連絡を密にとる必要がある。この点は課題として残った。</p>
	2学年	<p>[1] 基本的な生活習慣の確立</p> <p>[2] 態度教育(社会で通用する価値観を身につけさせる)</p> <p>[3] 学習意欲の向上と環境づくり</p> <p>[4] 進路指導</p> <p>[5] 保護者への情報提供</p>	<p>① 校則の正しい理解とその遵守(頭髪・服装など、全教員が同じ目線で指導)</p> <p>② 時間の厳守と出席の督促</p> <p>③ 清掃の徹底(社会に出て求められる責任感の涵養。学習に専念できる環境作り)</p> <p>④ 出席の督促(正当な理由のない欠席・遅刻・早退をなくす、問題のある場合は早めに対処。(連絡・確認・家庭訪問など必要な対応)</p> <p>⑤ 学びの姿勢(態度)を身につけさせる(謙虚さ・前向きな態度の大切さを理解させる)</p> <p>⑥ 挨拶、ことば遣いの指導(心のこもった挨拶とTP0を考えてことば遣いの指導)</p> <p>⑦ HR、授業時での指導(服装、教室の整備美化、聞く態度の指導を徹底する)</p> <p>⑧ 集会時(集合時間の厳守、聞く態度の指導、体育館シューズの徹底、歌唱指導)</p> <p>【学習習慣と環境づくり】…「生活学習記録票」を活用した指導。</p> <p>⑨ 学習習慣の確立(家庭学習の習慣化)</p> <p>⑩ 学習状況・理解度の正副担任把握(教科担当者との情報交換、生徒への声かけ、七つの学力の獲得)</p> <p>⑪ 学習環境の整備(教室内の整理整頓、掲示物による学習意欲の向上の工夫)</p> <p>⑫ 模擬試験・英検などへの積極的参加(教科・進路指導部との連携、HRでの働きかけ)</p> <p>⑬ スーパー特進生徒に対する進路希望を反映した積極的な学習指導(難関大学・難関学部学科への合格を目指す)</p> <p>⑭ ポートフォリオの入力を通じて、1年間の成長を明確にする。</p> <p>⑮ 進路指導部・教務部と協力して進路情報の提供 担任・運営委員の協力による面談の実施</p> <p>⑯ 12月の進路希望決定をめざす指導(付属推薦制度を利用した取り組み)</p> <p>⑰ リアルな教育活動を通して様々なことにチャレンジさせる</p> <p>⑱ 生活面・学習面についてのきめ細かい指導と家庭への連絡</p> <p>⑲ 学年だよりによる保護者への情報提供</p>	<p>[1] 4</p> <p>[2] 3</p> <p>[3] 4</p> <p>[4] 3</p> <p>[5] 4</p> <p>[6] 3</p>	<p>・目標設定の在り方を生徒自らが模索する時間を積極的に設けることが出来た。</p> <p>・校則に対して学年教員が共通認識のもと、指導を行うことが出来た。</p> <p>・コロナ以降集会時の校歌、建学の歌斉唱指導が難しくなっている。元気に歌うよう導きたい。</p> <p>・ポートフォリオ入力の個人差が大きい。しっかりと個々入力状況を把握し、継続的な指導を行いたい。</p>
	3学年	<p>[1] 進路目標の実現とそれに向けた具体的取り組み</p> <p>[2] 各校務分掌と連携した生徒指導</p> <p>[3] 学習指導</p> <p>1 意欲の向上と環境づくり</p> <p>2 大学進学を目指す学習指導</p>	<p>① 一貫教育計画の3年目を意識し、進路指導部と連携しながらの付属推薦進学者80名(25%)を第一とした進学指導の実践。</p> <p>② 放課後補習や課題配信を通して学習時間の定着をはかる。</p> <p>③ LHR・個人面接・三者面談を通して目標の設定とその実現のための対策をとる。</p> <p>④ 面接週間を設定し、面接試験への対応と進路に対する意識の高揚をはかる。</p> <p>⑤ 進路目標に対応した資料の提供を進める(東海大学関係・他大学・短大等)。</p> <p>⑥ 模擬試験受験の督促と事前・事後指導・受験校にあわせた指導の取り組み。</p> <p>⑦ 小論文対策(模擬試験受験の督促と事前・事後指導・受験校にあわせた指導の取り組み)。</p> <p>⑧ 生徒指導と連携した生活指導</p> <p>1 校則の遵守(頭髪・服装等、社会で求められるTPOに応じたルールの涵養)</p> <p>2 挨拶の励行(社会で求められるマナーの涵養)</p> <p>3 清掃の徹底(社会で求められる責任感の涵養)</p> <p>4 出席の督促(正当な理由のない欠席・遅刻・早退の撲滅。進路を意識した指導)</p> <p>5 集会時のマナー徹底(集合時間の厳守、服装、聞く態度、歌唱の指導)</p> <p>⑨ 健康推進室と連携した生徒の健康管理</p> <p>⑩ 意欲の向上と環境づくり</p> <p>1 学習環境の整備(教室内の整理整頓、掲示物による学習意欲の向上の工夫)</p> <p>2 模擬試験・英検等への積極的参加(教科・進路指導部と連携して、HR・授業において積極的な参加を呼びかける。)</p> <p>⑪ GTEC 特進780点・I類690点・II類460点</p> <p>⑫ 大学進学後を意識した基礎学力の指導と、一般入試・推薦入試での進路決定を実現させるための学習指導。</p> <p>※授業以外での継続的・計画的な個人指導の工夫。</p> <p>⑬ 特進担当と連携した課外授業・模擬試験への参加を積極的に指導する。</p>	<p>[1] 4</p> <p>[2] 3.5</p> <p>[3] 4</p>	<p>付属推薦進学者の目標にはやや届かなかったものの2年次より継続的に情報提供を行ってきた成果が現れた形である。</p> <p>進学コースの生徒に対しても積極的に模試受験の督促や計画的な課題配信を行ってきた。この点が学力向上に繋がっていることは成果である。</p> <p>年度末の登校に際して、かなりの数の欠席生徒が出た。部活生の退寮など、仕方ない面もあるが、来年度の課題といえる。</p>